



八戸高専だより

第150号 平成28年8月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16-1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



目次

八戸高専の現況について(校長より)	1
三主事より	2
新入生紹介(L1)	3
新入生紹介(L2)	4
新入生紹介(L3)	5
新入生紹介(L4)	6
1学年主任から	7
専攻科新入生紹介	7
編入生紹介	8
留学生紹介	8
保護者参観日	9
新任教職員紹介	10
COC/COC+の紹介	11
厚生補導委員会から	12

寮生会総代より	13
第51回北辰寮祭	13
ゴミゼロ運動実施報告	13
就職・進学状況	14
国際交流センターから	15
相談室から	16
図書館の今年度の予定	17
男女共同参画委員会から	17
高総体・高専大会	18
学生表彰	21
「保護者の声」設置について	22
授業料等の納付について	22
授業料免除について	22
平成28年度公開講座について	22



八戸高専の現況について

－ 4 学期制を導入したこの 1 年と向後 －

八戸工業高等専門学校

校長 岡 田 益 男

平成27年度は学科・専攻科の再編、4学期制の導入など、新たな八戸高専を目指した1年でした。本年度は、本科165名、専攻科31名、合計196名の新入生を迎えることができました。平成28年度の入学試験の倍率は昨年度の2.2倍と同様であり、特に、女子入学生の比率が昨年度36%、本年度は30%と増加しております。特に、マテリアル・バイオ工学コースと環境都市・建築デザインコースでの女子学生の比率が高くなっております。

平成27年度に導入した4学期制は、2学期制に慣れた2～5年生（現3～4年生）には戸惑いもあったようです。新しい4学期制度の目的は、学生が将来にわたって学習する基盤を培い、主体的に学ぶ習慣や社会の発展に寄与する志や責任感を身に付けられるような教育カリキュラムの導入があります。教えられる場から自ら学ぶ場への転換です。それというのも、我が国のものづくり産業は電気業界を例として、何をどのようにつくったらよいのか正解がない大きな岐路に立たされているからです。従って、これからの我が国の産業を支える人材は、正解のない課題に答えを出せる人材が重要になるからです。その為に高等学校や短大・大学には、新たな教育カリキュラムの導入が求められており、本校では、自主探究学習などを導入いたしました。

この自主探究学習は、1年間を通じ特に秋学期（9～10月）を主な学期として、学生自らが課題を設定し、調査や実験し、答えを導き出すという教育プログラムです。しかし、1～3年生次対象とした自主探究学習では、ほとんどの学生が自ら探究したいテーマ探しに苦慮していたようですが、探究成果発表会では、柔軟で斬新なものが多く、外部審査委員からは高く評価されております。この1年間の4学期制を通じて、学生は小中学校の体験から学校は教えられる場であるという認識であり、自ら学ぶ姿勢に欠けていることがわかりました。将来、就職、進学しても、未体験なことも、果敢に挑戦できるようになるには、自ら学ぶ習慣を身に付けることが肝要であり、保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成32年からは本校で実施されている自主探究学習と目的を同一とする理数探究が高校で導入される予定であり、51高専のトップをきって導入した本校の4学期制や自主探究学習についてこれからの教育成果が注目されております。本年度の自主探究学習の発表会は11月8日～10日に公開で開催されますので、是非ご参加頂ければ幸いです。

また、4学期制導入に伴い開講科目が増加し、留年する学生が昨年度の28名から本年度18名に減少したことも4学期制導入の利点の一つです。今後、留年生が更に減少することが期待されます。

現在、5年次、専攻科2年次は進学、就職活動の真最中です。5年前からキャリア教育の一貫として、4年生を対象として企業内容説明会を開始致しました。これまで企業の選択について情報が少なかったことから、もっと多くの企業を知って頂くことを趣旨として、地元企業はもちろん本校の卒業生が就職している企業に企業内容を紹介していただくプログラムです。平成28年3月には112社に参加して頂きました。学生にも、参加した企業にも大好評でした。

また、度々ご報告申し上げますように、昨年度の就職・進学ですが、進学率は47%、専攻科からの進学率も48%で、進学する学生が増えています。本年度も既に専攻科推薦入学者15名が内定しております。

国際交流については、本校では英語力増進のために、海外インターンシップ等多くのプログラムを準備しております。本年度は9月に1～2年次20名、3年次以上は10名の学生を対象とした海外研修を実施予定です。専攻科学生を対象としてフランスのインターンシッププログラムもございます。奨学金制度もあり、学生が海外研修を希望する場合には、是非、応援して頂きたく存じます。

八戸高専の卒業生は産業界から国際的技術者・研究者として、又将来のリーダーとして期待されています。多くの本校の学生が国際的技術者・研究者として、輝く未来に羽ばたけるように、引き続き皆様のご支援・ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

三主事より

「自ら学ぶ」姿勢を

教務主事 武 尾 文 雄

昨年度から始まった4学期制が2年目を迎えました。本校では、「身につけた知識・技術を基に、与えられた仕事を確実にこなす」だけでなく、「自ら問題を発見し、正解の無い課題に取り組んで解決策を導き出せる」技術者を目指します。そのためには、自主探究への取り組みはもちろん、他の授業科目についても「自ら学ぶ」姿勢が必要です。

4学期制に伴って多くの学修単位科目が導入されました。また週に2回の授業により2ヶ月間で終了する科目もあります。授業の進度が速くなり、少ない科目を短期間に集中して学ぶことになります。そこでとても大切になるのが自学自習の時間です。特に学修単位科目では、学校で行う授業の2倍の時間を自分で学修することを前提としています。これを怠ると授業についていけなくなる可能性が大です。試験期間だけの勉強では全く間に合いません。宿題はもちろん、予習、復習をコツコツと毎日続けて下さい。少なくとも1日2時間以上、できれば3時間以上の学習時間を確保する習慣を付けてください。

昨年度の自主探究発表会では、ポスターの前に人垣ができるような興味深い成果を発表した学生が多く見られましたが、一方で取り組みが足りなかったのでは、と思われるものもありました。今年は秋学期を一層有効に活用して、全員が自分で納得できる成果を挙げられるよう期待しています。

社会に開かれた高専生

学生主事 河 村 信 治

今年度の実践目標

- ①目標に向かって自分を磨いていこう
- ②社会に目を向けよう、視野を広げよう
- ③規則を守ろう、相手の立場になって行動しよう

学生主事として、また社会科担当教員として学生みなさんに求めたいことが集約されています。最近の目立った指導事案はいずれも特に上記②③の目標に関わる面が多いと感じます。(具体例は、厚生補導委員会の頁に挙げました。)

総じて能力レベルが高い高専生は、実践的専門教育、課外活動、寮生活等の学習・生活経験を経て、高学年になれば相応のソーシャルスキルを身につけます。また個々には国際交流経験豊かな学

生や、生き活きとボランティア活動に参加する学生も数多く目にしています。しかし全体としては、社会的な意識が高いとは決していえません。

学校教育現場一般が社会や政治と距離を置いてきましたし、高専も特定の産業界と結ばれている以外、内向的な関心が強いように感じます。カルト宗教勧誘など様々な問題もあり、安易に、書を捨てよ町へ出よ、と言えない面もあります。ただ選挙権が身近になった学生ともども、学校自体が地方創生に取り組む地域との関係を、模索しつつ、もっと広げていく必要があると感じています。学生には、仲間内の空気を読むより、さらに広く深く社会の文脈を読み、公共的な教養やマナーを身につけてほしいと願います。文武両道に加えて「社会に明るい高専生」をめざしてください。

みんなでより良い寮を

寮務主事 中 村 重 人

今年度から寮務主事を務めることになりました。よろしくお願いいたします。なお、今年度は、寮務係長、寮務主事補1名も替わり、寮務委員の多くが新人という顔ぶれとなりました。昨年度の寮運営をよく知っている者が少ないという状況のため、種々の対応が遅れているところがありますがご容赦下さいますようお願い致します。新しいメンバーにより、新たな観点からより良い寮環境を構築したいと考えております。

昨年度は4学期制の導入に伴う秋学期や発展学習期間の寮運営、点呼や宿直業務の変更などで試行錯誤の1年でした。今年度は一部は引き継ぎ、問題があったところは改善していきます。なお、秋学期中の学寮の対応については、在寮を原則とし、種々の点で昨年度とは異なるものとなる予定です。詳しくは別途お知らせ致します。

今、寮則違反で最も多いのは低学年生の朝点呼不在です。二度寝防止のため着替えてから大食堂で申告しますが、同室の寮生全員が起きられないというものです。夜遅くまで起きているようなことはせず、規則正しい生活を心がけて下さい。また、共通設備に不備ができて、たとえば廊下の蛍光灯が切れても、誰も事務室に申告しない、自分で直そうとしないなど、共同生活を送る寮生としての行動ができていないようです。寮全体のことを考え、みんなでより良い寮を創っていきましょう。

新入生紹介 (L1)



Keep on challenging!

L1担任 菊池 秋夫

八戸高専では、青森県全体および岩手県からも学生が集まってきています。津軽の学生が南部弁になり、逆に地元出身の学生が津軽出身の学生と友達になって津軽弁が混じるというケースもよく見られます。言葉の違いは、その言葉を話す文化の違いにも通じます。教育目標のA「豊かな人間性の涵養」に「国際的な視野に立ち、地球環境や人類社会に及ぼす技術の影響を理解し、またその責任を自覚できる、誠実で健全な心身を養う」という項目があります。この項目は、国際社会で活躍する人材を養う、という意味があります。そのためには、英語や他の外国語はコミュニケーションのツールとしてももちろん重要です。しかし、それ以上に自分の言葉と違う言葉を話す人…自分の文化と異なる文化の人を受け入れ、自分を高めていく姿勢が大事だと思われます。

と、カッコいいことを書きましたが、簡単にまとめると「食わず嫌いをなくそう」ということです。言葉と同じく食べ物も文化の一部です。私は子供時代、親の強制で林檎を食べさせられていて、林檎は「モサモサして味が無いがビタミンCを豊富に含んでいるので食べたほうがいい」果物とだけ思っていました。仕事で青森に来て、たまたま学生からもらった林檎を食べその味の素晴らしさに衝撃を受け、実家で食べていたのは「林檎らしきもの」に過ぎなかったことに気づきました。今では林檎は私の大好物のひとつです。ぜひ、いろんな「食わず嫌い」（あれはやったことないし面白そうじゃない、この本は読んだことがないから分からない）をなくして、トライしてみてください。それが血肉になっていくと思います。

L1の学生は元気で反応がよくて、授業して楽しいです。メリハリをつけ、常に自分を高める姿勢を持ち続けていってほしいと思います。泥臭くても、カッコ悪くても明るく前向きな姿勢で高専生活を送ってください。

元気と気合の溢れるL1

機械システムデザインコース1年 小川 泰青

(八戸市立下長中学校出身)

高専に入学し、このクラスがスタートしてからあっという間に2か月が過ぎました。入学当初は初めての経験や慣れない授業などで不安を抱えている人が多かったと思いますが、今ではほとんどの人が高専での生活に慣れたのではないのでしょうか。僕自身も今では高専生活を大いに楽しんでいます。

L1は元気と気合に満ち満ちているとても明るいクラスです。一人一人の個性がとても強く、一致団結した時のエネルギーには計り知れないものがあります。授業中もとても賑やかで発言発表も皆活発に行ってくれます。また、一部の男子が冗談を言ったりして授業を盛り上げてくれます。しかし、たまに盛り上がりすぎて收拾がつかなくなる時があるので、その点はクラス全員で直していきたいと思います。L1は良くも悪くもとても賑やかなので良い方向に持っていけたら、素晴らしいクラスになるだろうと僕は確信しています。

これから、団結力をさらに深めていきたいです。今年度のL1の活躍にご期待ください！クラス全員で一致団結して頑張っていきます！



新入生紹介 (L2)



16歳は元気じゃないと！！

L2担任 川端 良介

L2の学生は高専生活が始まり、早3ヶ月がたとうとしています。

最近「L2は授業のときに非常に反応がよく元気いっぱいですよ」と授業をもってくださいている先生方にお褒めの言葉をいただくことがよくあります。その反面少し授業が騒がしくなってしまうときもあるのですが・・・そこはさすがに高専生、ある程度の良識を持っているので、一線は越えないようにうまくやっています。

そして、夏学期が終わればついに自主探求学習もスタートします。夏学期の特活は自主探求の助走期間で学生はおのこのテーマ決めを進めています。もしよければ、「自主探究はどんなことするのか？」と尋ねてあげてください。壮大なテーマの学生もちらほらいて個人的には非常に楽しみです。

少し過去に話をさかのぼりますが、北海道置き去り事件のときにダウントウンの松本人志が子育てには「信念」が必要だという話をしていました。これは学校教育においても同様であると考えられます。初担任でいたらないところも多々あり、逆に学生に助けられている部分もありますが、私なりの「信念」を持って1年間担任業を全うしていきたいと思います。よろしくをお願いします。



クラス対抗ドッチボール大会にて

ありがとう

マテリアル・バイオ工学コース1年 中野 彩花

(青森市立西中学校出身)

私が高専に来てから、早3ヶ月が過ぎようとしていることにこの文章を書いて気づかされました。私はもしかしたらL2にいないければ早々に学校をやめていたかもしれません。これに気づいたのは初めての到達度試験のときです。私はテスト期間毎日放課後、教室で勉強していました。そこで、テスト勉強でわからないところを丁寧に教えてもらうことができました。そのおかげで今回のテストは最低限の点数をとることができました。それ以外でも、なにか困ったことがあればすぐに助けてもらえる仲間も多く、日々うれしい気持ちになります。

そんな充実しているL2で1つ私が困っているのが方言です。津軽弁のイントネーションで話すとたまに話が通じないときがあり、聞きなおされるときがあります。これでも訛りはとれたほうですが・・・

3ヶ月を異郷の地で過ごし、寮生活などないことだらけで困惑すること多々ありますが、L2にいとそんなこともいつの間にか吹っ飛ばぐらい笑っています。私をそうさせてくれる個性豊かで優しくてひょうきん者ぞろいのL2のみんなに一言「ありがとう！！」

個性的かつ最高の集団、つまりL2

機械システムデザインコース1年 南館 拓実

(八戸市立第一中学校出身)

入学当初、このクラスの第一印象はとても静かで、椅子に座る姿勢がとてもいい人が多いクラスだと思いました。そのため、このクラスで1年も過ごせるのかと不安でしかたなかったです。しかし、その不安は2日で跡形もなく消えました！

話をしてみたら、普通に面白い人が多いし、あの日はみんなただ緊張していたそうです。そのため、僕たちはすぐに仲良くなり、打ち解けるまでに時間がかかりませんでした。それは担任の川端先生のおかげだと思います。先生はいつも僕らのモチベーションを上げてくれて、緊張をほぐしてくれました！

今のL2の印象は・・・

「うるさいくらいがちょうどいい、個性あふれる愉快な仲間、毎日が楽しい最高のクラス！！」

これからの日常をL2で楽しくにぎやかに過ごしていきたいと思っています。

新入生紹介 (L3)



多文化共生

L3担任 齋 麻子

「今年の新入生は、八戸市内の学生が多い！」と言われる中、L3は津軽出身、岩手県北出身はもちろんのこと、盛岡市（時々います）や宮崎県出身と、さまざまな出身地からのメンバーで構成されています。そんな私も八戸とは縁もゆかりもなかった宮城県出身者です。現在、1年生は国語の授業の中で「ふるさと紹介」のポスターを課題として作っていますが、このクラスは実にバラエティーに富んだ出身地です。

八戸高専入学は、これまでに育ってきた環境が狭いエリアだけだった学生にとっては、とても刺激的なことでしょう。特に小規模校からやってきた学生にとっては、中学の全校生徒数よりも人数の多いクラスメイトの数に戸惑いがあることもあるようですが、今のところ、うまく人間関係を築けているように感じます。方言や生活習慣、考え方など、お互いにこれまでに身につけてきた文化は、同じ日本にいながらもちよとずつ違います。案外隣の中学だったはずの人と大いに違っていたりして…。社会の最小単位は家族ですから、違いがあって当然です。

お互いに違いを尊重し、認め合って、他のクラスよりより多文化である状況をぜひとも楽しんでほしいと願っています。



文章を書してくれた鍋西さんと角浜さんはるばるようこそ九州男児 & 地元っ子代表！



L3では自主探究のテーマ(仮)を教室の壁に貼っています。誰がどんな関心を持っているのかわかりますよね！

笑顔の中にも

マテリアル・バイオ工学コース1年 角浜 真優

(八戸市立第一中学校出身)

八戸高専に入学してもう少しで3ヶ月になります。入学したばかりの時は緊張していましたが、今は高専生活にも慣れ、充実した生活を送っています。クラスでは毎日笑顔が絶えません。わからないことを教え合ったり、一緒に解き方を探したり、とてもよいチームワークだと思います。ですが、元気なところが裏目に出てしまい、うるさくなったり、進行が止まってしまったりすることもあります。だから、もう少し場に応じて行動できるように、みんなで自分自身を高めあって行きたいと思います。

2か月経過してきて、自分の課題も見つかったと思います。勉強面であったり、生活面であったり、部活動の面であったり、人それぞれの悩みがあると思います。それを毎日、小さな目標を立てて、少しずつ工夫して改善して行けるよう、頑張りたいと思います。

L3！

機械システムデザインコース1年 鍋西 陸

(宮崎県都城市立高崎中学校出身)

4月に期待と不安を抱えながら入学して早くも6月です。そのころの不安は吹き飛んでいることに自分でも少しびっくりです。春学期到達度試験を終え、皆、各々やるべきことにしっかり取り組んでいると思います。L3はとてにぎやかでありながら、割と真面目（？たぶん？）なクラスです。入学当時の緊張していた頃のことをクラスメートに尋ねても、「どこ吹く風」という感じです。最近は、クラスの中にいくつかのグループができ、いつも決まった人と一緒にいるようなところもありますが、それ以外の人とも仲良くできていると僕は思います。

僕は宮崎から来ましたが、皆、そんなことは関係なく仲よくしてくれているので、とてもありがたいです。まだ、壁があるように感じる時も少々ありますが、時間は十分にあるので、これから打ち解けていければ良いと思います。

新入生紹介 (L4)



L4を“自主探究”㊤㊤㊤巻

L4担任 中村 美道

始業式から1週間後、早くも席替え！教室前方を希望する学生が続出したためだ。全体の約半数の学生が前方座席を奪い合う、壮絶なバトルが特活で繰り広げられた。「なんて真面目なクラスだ」と感心。ところが、ある日、L4教室横の廊下を通りがかった時、授業風景をチラ見したら、今プラネタリウム上映中か？と思えるほど多くの学生がレム睡眠中…ニャンでやねん！（笑）

でも逆に、そういう自分たちを自覚しているからこそ、あえて強制的に前方座席に身を置く努力してるのかも…そう考えると、チョットいじらしく、可愛く思えた（笑）。

上野陸斗さん&下沢舞優さんが右コラムでL4を“自主探究”しています。“みんなの個性が強すぎて驚いちゃったあ〜”的に書いてますが、この2人も十分すぎるくらい個性的。なので、みなさん、ダメされないでね（笑）。L4はこういう人だらけだから、本物の自主探究への期待も大！



写真左：リクト（中央）&ハートブレーカーズ!?
写真右：静かに勉強にいそしむ下沢さん

ところで、このコラムのタイトル、変ですよね？㊤㊤㊤で…意味分かります？このページ全体をよ〜く眺めて考えましょう（笑）。答えが分かった方、連絡下さい！ついでに、クイズをも一つ。下の写真のL4学生たち、一体何をしているのでしょうか？こちら分かった方、連絡下さい！



ヒント：UFOを呼ぶ儀式ではありません（笑）

“43”の個性の塊

機械システムデザインコース1年 上野 陸斗

（八戸市立三条中学校出身）

「なんて静かで、大人しい人の集まりなんだ…」L4への僕の第一印象です。しかしそれは、最初の1週間だけの“まぼろし”でした（笑）。すぐに皆の“化けの皮”が剥がれました。今、高専で1番ワイワイしている、にぎやかなクラスでしょう。

理由を説明します。L4は担任のビドー（美道）先生を含め、全員個性的です。タイトルの“43”は、“学生42人+担任1人”の個性の合計です。これが連鎖爆発するのです。「クラス編成に手違いあったでしょ？」と思いたくもなります（笑）。

でも不思議なことに、それぞれ違う個性なのに、みな仲が良く、非の打ち所がないんです。だからL4が大好きです。

1年間限定のこのクラスで、これからも、もっと楽しい生活を送るよう全力でがんばります！

L4での3ヶ月

マテリアル・バイオ工学コース1年 下沢 舞優

（八戸市立下長中学校出身）

新入生として八戸高専に来たばかりの頃、L4は微妙な空気に包まれていました。毎朝SHRに、一見、“反社会的な香り”漂う担任が来るし…

「私はこのクラスでやっていけるのだろうか？」と不安になりました（笑）。「心配すな。ゴールデンウィークまでには動物園みたいに、にぎやかになる」と先生が予言されました。「いくらなんでもそれは早すぎるだろ」と思いました。ところが！あっという間に、とても頭のおかし…いえ、明るいクラスに化けちゃいました。飛び交う不思議なニックネーム、授業中に壁ドン、先生のミラクルなTシャツ（←毎朝の密かな楽しみ）…そんな、つかみどころのない明るさが結構楽しいです。ビドー先生の、笑顔でえげつない(?)ことを言う所も好きです（笑）。

誰かが悩んでいたら一緒に悩む、喜んでいたら一緒に喜ぶ、このクラスが大好きです。今はそれぞれ自主探求やテストに向けて頑張っています。これからも楽しい思い出を作っていこうね！

1 学年主任から



人生日々自主探究也。勿恐。

1 学年主任 齋 麻子

今年の1年生は自主探究導入2年目の入学者となります。昨年度は学生も教員も手探りで「道なき道」を歩んだ自主探究でした。今年の1年生にとっての「自主探究」は、すでに先人によってちょっぴり切り開かれた「けもの道」を歩むものではなかろうかと思っています。

さて、国語担当である私の上半期の放課後は卒業間近の上級生に引っ張りだこです。頻繁に上級生たちと図書館交流室でディスカッションする姿を目にしたいと思います。「何をしているか」というと、進路に関わる小論文ゼミです。単位とは全く関係のないゼミです。ですが、ここに参加する学生たちは、自らの欲求・必然性によって、小論文ゼミを開講すべく、私にスケジュール調整を求めてきます。参加者全員が必死です。授業よりも必死です。指導する私も。大声では言えませんが、実は授業より真剣かも。では、「皆、なぜ必死なのか？」それは「人生が懸かっているから」です。自らの道を切り開くために、大学受験・就職試験に出題されるであろう課題に立ち向かって

います。低学年の頃、「国語は嫌い！」と臆面もなく堂々と言っていた彼らが必死で毎日文章と格闘しています。苦しい文章執筆、プライドを打ち碎かれるほどの文章力のなさを痛感させられるこのゼミに彼らは非常に積極的に参加し、読み合い、批評し合い、研鑽の日々です。

自らの進むべき道を考えたとき、自らの欲する「なぜ?」「どうしたい?」を突き詰めていくことはまさに自主探究です。私たち人間は、本来課題として与えられずとも自ら探究して生きているのではないのでしょうか？それをより集中的に、真剣に、「課題発見から探究してみよ!」というのが本校の自主探究だと思います。今年の1年生には「道なき道」ではなく、「けもの道」程度ではありますが、既に道は作られています。暗中模索ではありません。その分、いかに自分だけのカスタマイズされた探究ができるかがカギを握ると言えるのではないのでしょうか。

1 学年では担任4名が一丸となって学生の探究心に火をつけて、真剣に煽っていきます！せっかく八戸高専に入学したのですから、自主探究と一緒に全力で楽しみましょう！！
人生は自主探究の日々です。恐るる勿れ！

専攻科新入生紹介

友 情

機械システムデザインコース1年 水梨子 将也
(階上町立道仏中学校出身)

専攻科に入学してから、もうかれこれ数ヶ月がたちました。私は、しっかりと実験のレポートを提出し、授業を受けて過ごしています。みなさまは新学期には慣れたでしょうか。私は未だに同級生が卒業した寂しさから立ち直れずにいます。みんなは元気かなあ……。そんな中、就職したけどちょくちょく学校に遊びに来る同級生がいます。元気な姿を確認できるのはうれしいですが、約束の給料で焼肉をおごるはいつになったら連れてってもらえるのでしょうか。本当に働いているのか不安です。このようなつながりを大切にするために、後輩たちには同級生たちと限りある学生生活を全力で楽しんでほしいと思います。友情は自分が困ったときや苦しいときに力を発揮し自らを助けてくれることでしょう。

専攻科に入学して

電気情報システム工学コース1年 佐藤 航大
(南部町立福地中学校出身)

本科を終え、専攻科に入学してから早くも3ヶ月が経ちました。課題やレポートに加え、週3回の実験、特別研究で忙しいながらも、とても充実した日々を送っています。また、これらの課題のほかにも秋学期に控えている企業や大学のインターンシップや海外派遣に向け、準備を始めています。インターンシップでは、新たな出会いや多くの貴重な経験ができ、今の自分の課題を見つけられると思います。この機を利用して、技術的にも人間的にも成長し、自分の可能性を広げたいと考えています。

短い専攻科生活ですが、勉強と研究を両立し、本科で学んだことを活かして悔いのない2年間にできるよう頑張ります。

専攻科新入生紹介

充実した2年間に

マテリアル・バイオ工学コース1年 東 麗緒菜
(十和田市立三本木中学校出身)

専攻科に入学し、八戸高専での学生生活も6年目に突入しました。専攻科に入学して変わったことといえば、クラスの人数が本科のころに比べて約4分の1と少なくなったことや学生生活の拠点が教室ではなく自身の研究室となったこと、私自身に関していえば所属している研究室が変わったことなどです。こうしてみると本科に比べて環境の変化はそんなになさそうに見えますが、勉強や研究、実験、レポート、アルバイトに追われ、本科に比べてかなり忙しくなった印象です。

今はもう卒業し離れてしまった友達や、クラスメイトと過ごした本科の5年間はとても楽しくあっという間でした。2年間という短い期間ですが、これからの専攻科での学生生活がそれよりもさらに楽しく充実したものになるよう、一つひとつ頑張っていこうと思います。

専攻科での生活を通して

環境都市・建築デザインコース1年 根岸 ゆう美
(八戸市立三条中学校出身)

本科を卒業し、専攻科へ入学してから早くも3ヶ月が経ちました。生活環境に大きな変化はありませんが、実験やレポート、課題に追われる日々です。また、各々が課外活動や資格の勉強などに取り組み、スキルアップを目指し充実した学校生活を送っています。

夏からはインターンシップやフランスへの短期留学などが始まります。このような経験から得たことは必ず自分のためになると思います。普段の生活ではできない経験を通し、自分の目標に達するためには何が足りないのか、進路に向けて何を養うべきか見つめ直すことを意識し、全力で取り組んでいきたいと思っています。

専攻科ではやるべきこともやりたいことも沢山あります。2年間という限られた時間の中ではありますが、自分のために後悔のないよう過ごしていきたいと思っています。

編入生・留学生紹介

高専で頑張りたいこと

電気情報工学科4年 佐藤 公治
(弘前工業高等学校出身)

高専に編入して二ヵ月半が過ぎました。高専は授業が速く進むので、高校の頃のように過ごしては到達度試験で大変な目に遭うと実感しました。高専に編入しようと思ったのは、高校二年生の頃にテレビで見たロボコンに影響されたからです。競技には様々な工夫を凝らした数々のロボットがあり、高専に入学してロボット作りに関わってみたいと思いました。高専入学後、ロボコン愛好会に入部しましたが、高校ではプログラミングや機械加工をまったくしたことが無いので、ものづくりの技術やプログラミングについて、少しずつ覚えていきたいと思っています。

初めての寮生活では不安でいっぱいでしたが、今はだいぶ慣れてきました。学校生活では、クラスのみんながとても仲良しなので、これから時間をかけて打ち解けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

留學生活について

電気情報工学科3年 ダムツァグドルジ バンディニヤム
(モンゴル)

私はモンゴルと日本が協力している工学系高等教育支援事業による高専への第1派遣生として八戸高専に入って2か月になります。今は高専生活にだいぶ慣れてきたところです。

モンゴルでは高専での勉強のため前から日本語、基礎科目を勉強してきましたが、実際に日本に来たのはこれが初めてです。最初は高専の授業がわかるか、モンゴル人一人で暮らして寂しくないとか色々心配していました。しかし、優しい先生やクラスメートのおかげで勉強はうまく進んでいます。八戸高専は留学生向けの色々なイベントがあるし、日本の学生達と交流や寮祭などで楽しんで、2か月は気が付かないうちに経ちました。それから校内体育大会、高専祭とかを楽しみにしています。

高専では勉強のことだけではなく日本人の熱心でまじめなところ、日本文化についても身に付けたいです。そして学科に限らず幅広い知識を得たいので部活に入ったり、色々なことやってみて精一杯頑張りたいと思っています。

編入生・留学生紹介

八戸高専での生活について

物質工学科 3年 サイホントー ソンペットウ
(ラオス)

去年の四月ラオスから日本にきました。東京で一年間、東京日本語教育センターを中心に生活し、八戸高専での生活は今年の4月から始まりました。日本語はまだ下手ですので、いろいろなことを心配しています。高専に入る前、東京で数学や化学を少し日本語で勉強しましたが、高専に入って勉強が進み、本当に大変です。また、習った日本語とみんなが毎日使う日本語に違いがあり、皆とのコミュニケーションや授業が大変でした。授業やレポートでも分からないことがたくさんあり、先生や友達、先輩にいろいろ聞きました。今は、クラスメートと仲良くなって、皆に高専での勉強や生活を教えてもらっています。

最初の八戸高専での生活は苦労しましたが、先生や先輩、友達のおかげで、生活は大分慣れてきました。夏学期になったので、専門科目が多く、勉強は前より頑張らなければなりません。これからも勉強、生活を頑張っていきたいと思います。

前に向け！

建設環境工学科 3年 カイルー ヌル アキラ
(マレーシア)

私は、日本へ来たことがあります。高専で生活するのは初めてです。高専に来る前、不安なことばかり考えました。私は、日本語でうまくしゃべれるか、授業で先生の話が理解できるか、勉強もちゃんとできるか、今でも本当に心配です。

でも、「踏み込まなければ道は開けない」。だから、悩み事をあまり考えずに、前に向かって自分ができると思い続けていきたいです。

クラスの友達は親切で、声をかけてみるとすぐに仲良くなりました。私の面倒を見て、勉強のことを助けてくれて、本当にありがたいです。先生をはじめ、先輩やマレーシアの友達のおかげで、この生活は楽しくなりました。これからもいろいろなことを経験して、みんなのためにも自分のためにももっと頑張りたいです。

日本での留學生活について

建設環境工学科 3年 アティカ ブライカ
(マレーシア)

4月4日に八戸高専に来てから2ヶ月ぐらいい経ちました。日本に来る前には、いろんなことを心配しました。違う環境に慣れていけるか、日本の友達ができるか、などです。

最初に、勉強が難しいし、日本語もあまり聴き取れないので大変だと思いました。それに、私は、日本語をあまり上手に話せないの、少し困りました。しかし、先生や先輩やクラスメイトのおかげで、だんだん慣れてきました。

私にとって、日常の生活の中で難しいことがあります。でも、自分に自信をもっていれば、周りの人たちが助けてくれて、難しいこともできると思います。だから、勉強も日常生活も頑張りたいです。よろしくお願いします。



授業参観日を終えて

教務主事補 村山 和裕

5月21日（土）の授業参観につきましては、昨年度よりは若干減ったものの約150名の保護者の皆様にご参加をいただきました。ご多用中にもかかわらずご参加をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。また、授業参観アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。普段の授業や教室の雰囲気を感じて頂けたと同時に、授業方法等に関する大変貴重なご意見やアドバイスをいただきました。ご指摘いただいた事項については、全教職員で情報を共有し、今後の授業改善に役立てていきたいと思っています。来年1月には、保護者の皆様もご参加いただけるオープン授業推進週間を設定しております。今回、参加できなかった皆様にも、是非ご参加いただき、ご子息の授業の様子や取り組み、高専ならではの実習授業もご覧いただければ幸いです。

新任教職員紹介

①氏名	名
②出身地	地
③所属・職名	職名
④前職	職

- ①和田 和幸
- ②青森県むつ市
- ③総合科学教育科・助教
- ④北海道大学大学院博士後期課程

今年度4月より総合科学教育科に着任しました。専門は数学です。数学の立場から量子現象を解明する事、またはその背後にある構造を明らかにする事を目標に研究を続けて参りました。身近な所では、線形代数で登場する固有値・固有ベクトルは量子論と密接な関係にある重要な概念です。

数学は悩んでいる時は非常に辛いですが、閃いたとき、理解したときの充実感は言葉では表現できません。このような経験は研究にも生かされると思います。学生の背中をポンッと押せるような支援をしていきたいと考えております。

教育経験は皆無に等しく、まだまだ未熟ではありますが、学生と日々を過ごす中で私自身も成長していきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

- ①及川 勝治
- ②宮城県登米市
- ③総務課長
- ④仙台高専管理課長

4月1日付けで総務課長として着任しました及川勝治と申します。

私はこれまで東北大学を皮切りに旧仙台電波高専や福島県南にある国立少年自然の家にも勤務してきました。高専での勤務は今回3回目、通算しますと11年目となります。

八戸高専は、51高専のトップを切り4学期制を開始し、さらに自主探究学習を導入するなど進化する高専として全国の高専から注目を浴びております。さらに文科省の補助事業であるCOC及びCOC+、また今年度からはグローバル高専事業がスタートするなど躍動する高専といった感があります。

そのような八戸高専で勤務することの自負と責任を持ち、教職員、そして学生のみなさんと一緒にいろいろな意味でこの高専を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ①井関 祐也
- ②群馬県高崎市
- ③機械システムデザインコース・助教
- ④明治大学大学院博士後期課程

今年度4月より機械システムデザインコースの助教に着任いたしました、井関祐也と申します。

研究では、医用工学を専門としております。この分野は、医学、熱工学、伝熱工学、電磁波工学、コンピュータ・シミュレーション、画像処理など、多岐にわたる専門分野の知識が必要とされる分野で、具体的には最新の癌治療に関する研究を行っています。

八戸高専においては、熱工学分野の授業を中心に担当しております。教育経験は、学部時代の教育実習と博士後期課程時代に助手をしていた程度で皆無に等しいですが、周りの先生方に支えられながら日々の業務を遂行しております。

社会人1年目で皆様にご迷惑をかけることも多々あるかと思いますが、精一杯努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- ①池田 健
- ②福島県相馬市
- ③総務課地域連携係長
- ④弘前大学医学部附属病院経営企画課
経営企画グループ主任

4月1日付けで本校に採用になりました池田健と申します。生まれは福島県で、幼少期と学生時代は宮城県、採用は弘前大学と東北各地を転々と異動してきました。弘前大学の採用の間、2年間は日本学生支援機構への出向を経験し、弘前大学では主に大学病院、日本学生支援機構では、学生支援（奨学金業務）業務を経験してきました。

高専は、支援機構や大学とは予想以上に異なる部分が多く、戸惑いながらも毎日新鮮さを感じております。

高専での勤務は初めての分野が多く、なかなかお力になれるかわかりませんが、微力ながら全力を尽くしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新任教職員紹介

①氏	名
②出身	地
③所属	・職名
④前	職

- ①吉田 富嗣
②青森県弘前市
③総務部財務係長
④弘前大学理工学研究科総務グループ主任

4月1日より財務係長を拝命いたしました吉田です。弘前大学より参りました。

その昔、宮城県多賀城市や関東方面に住んだ経験もあり、太平洋岸に住むのは今回始めてというわけではないのですが、弘前とは当然ながら気候もずいぶん異なり（寒いことに関しては一緒ですが）、その点でも毎日新鮮な気分を味わっております。この時分は霧が掛かることも多く、「鯨の岬は潮けむり」（八戸小唄）とはこのことか、などとひとりごちておるところです。

高専での勤務は今回初めてとなりますので、色々仕組みが異なる点もあり、日々試行錯誤の状態ですが、前任地では理工学部を担当しておりましたので、共通する点など何か業務に生かせればと考えております。

よろしくお願いいたします。

- ①横島 大智
②岩手県九戸郡軽米町
③総務課 専門職員（施設）
④山形大学工学部総務課施設管理担当

4月1日付で専門職員（施設）を拝命しました横島といいます。一関・岩大・山大と渡り歩いてきましたが、やっと自宅からの通勤ができる職場となりました。

もう勤め始めて2ヶ月ですが、以前勤めていた一関高専でも高専の施設の仕事って調査物がやたら多くて忙しくよろず屋で、突発的な事件が多くて宿直もあるしこういう感じだったな〜と懐かしみ思い出しながら仕事をしているところです。

自動車通勤にも慣れてきたのですが、軽米方面は夜中真っ暗なのでこわごわ運転しながら帰宅しているところです。

最近は少し落ち着いてきましたので、趣味の園芸や魚釣りなど出来るといいなと考えているところです。今までの施設管理の経験が八戸高専でも活かれますよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

COC/COC+の紹介

COC/COC+ 計画立案室長 齊藤 貴之

本校では、「青森の資源や人財のコンピテンシ育成拠点プログラム」が、平成26年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（COC）」に採択されました。COCは平成26年度から5年間の事業で、今年度は3年目となります。

COCの目的は、人口減による地域衰退に対応するため、大学等が地域の知の拠点となり、学生に地域課題を認知させ、課題解決に向け主体的に行動できる学生を育てるというものです。単独でのCOC採択校は、全国高専では本校を含め2校のみで、本校の事業が高く評価されているといえます。また、平成27年度からは、新たに「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」が立ち上がり、地域課題の認識だけでなく、学生の地域への定着を目的とする事業に発展しています。

今年度、COCでは、「教育」、「研究」、「社会貢献」の3分野毎に様々な事業が予定されており

ます。「教育」分野では、「田面木塾」など9つの「地域志向ものづくりカリキュラム」、「研究」分野では、「オール電化住宅における環境電磁界の測定と評価」など6つの「地域課題解決型研究開発プロジェクト」、「社会貢献」分野では、「ロケットはなぜ飛ぶか〜PETボトルロケットコンテスト〜」など多数の「公開講座」や「出前授業」です。さらに、11月には、「高専week（仮称）」と題して、これまでの成果報告や出前授業、学生の自主探求課題の成果発表など、COCに関する事業を1週間にわたり実施する予定です。

また、COC+では、学生の地域定着を目的とした「地元企業の魅力を知るための企業研究会（仮）」を10月に、また、学生のアイデアからイノベーションをめざす「イノベーション・ベンチャー・コンテスト（仮）」を12月に実施予定です。

以上、COC/COC+では、学生の視点を地域に向けさせる幅広い事業があり、成果をあげるべく全学的に活動しています。事業によっては一般参加も可能ですので、皆様、奮ってご参加下さい。また、本校HPにも、COC/COC+の成果や最新情報が載っていますので、こちらもご覧下さい。

厚生補導委員会より

学生主事 河村 信治
学生主事補 馬淵 雅生
山本 歩

●生活指導関係

・ハラスメント等の問題について

当人に加害の自覚が無くても、相手が嫌だと感じたら、いじめあるいはいやがらせとみなされます。ハラスメントやストーカー等の問題をしっかり理解し、他者との心理的な距離や人権への意識を高めてください。

・ネット上のトラブル

本来便利で有用であるはずのソーシャルメディア（ツイッター、LINEほか各種SNS）の普及に伴って、いじめ問題を含むさまざまなトラブルが生じています。個人攻撃、誹謗中傷、名誉毀損につながる書き込みは許されません。仲間内での他愛ない愚痴や冗談のつもりが公開され、簡単に通報されたり「炎上」したり、書き込んで何年何十年経ってから不利益を招いたりする危険性をよく理解してください。平日校内での携帯電話等の使用は制限されていますが、夏季休暇や秋学期中は自己管理をしっかりしましょう。スマートフォンに依存し過ぎないように、またトラブルを起こさず、巻き込まれないようくれぐれも注意してください。

●課外活動（部活）関係

・優れた指導の下、あるいは自律的に、課外活動に打ち込むことは人間力を高め、キャリアの上でも必ず資産となることでしょう。このため本校では基本的に部活を奨励しています。しかし学生もワーク・ライフ・バランスが大事です。本校では昨年度中から日曜日の部活を制限しています。限られた時間でメリハリをつけて練習し、週末一日はできれば家庭や社会に目を向けたり、普段できない勉強をしたり、休養等に使って下さい。

・7月1～3日、平成28年度東北地区高専体育大会が開催されました。バレーボール、ソフトテニス、柔道、硬式野球、サッカー、水泳、バドミントンの各競技は本校主管で八戸および周辺地域で実施され、サッカーと男子バレーが見事優勝しました。その他結果詳細は八戸高専HPでご覧ください。

さい。

・夏合宿は今年も学寮を利用して実施予定です。

●社会への視野

選挙権年齢が18才に引き下げられ、7月10日には国政選挙（参院通常選挙）が実施されました。COCで高等教育機関と地域との連携が促され、さらに本校では自主探究学習に取り組んでいます。学生が広く社会の一員であることを自覚し、地域やグローバルな社会に関心を持ち、積極的に社会参加することが求められています。勉強と部活の両立も大事ですが、一方では有権者としての責任を持って、社会に目を向けてください。ソーシャルスキルや公共意識を高める絶好の学習機会ともなることでしょう。

●その他、生活指導担当から

・今年度は「学生から見える」厚生補導委員会を目指して、委員全員による月1回の校内巡回を実施しています。昼休みや放課後の巡回によって、学生たちの生活状況を観察し、学生と対話することを試んでいます。

・不定期ですが、昼休みに校外巡回を続けています。校外での学生の様子をみて、必要であれば指導することが目的です。高専では、高校とは違い、休み時間に学校の外に出ることを禁止していませんが、節度ある行動を求めます。

●学生会関係の報告

・4月27日（水）、学生会主催の「お花見」が開催され、約40名の学生が参加致しました。平年より早く桜が開花したため、当日は葉桜が目立っていましたが、音楽部のアコースティックライブなどで盛り上がりしました。



・6月16日（木）、行事委員会主催の「校内球技大会」が開催されました。前日から降り続いていた雨の影響により当初予定されていた「校内体育大会」が中止となり、球技大会に変更となりましたが、学生はクラスの仲間と協力し合い、プレーや応援を通じて爽やかな汗を流していました。



寮生会総代から

物質工学科5年 小林 潤哉

(むつ市立大平中学校出身)

4月の入寮式から早いもので、2ヶ月が経ちました。また、4学期制も2年目に入り、2年生以上の在校生は、この学事日程にもやっと慣れてきたことを実感しています。この間、緊張して入寮した1年生も次第に新しい仲間を増やし、楽しく有意義な高専生活を過ごし、総代として大変安心しています。今年度は、寮務委員の先生方の顔ぶれが大きく変化し、本当に先生方が学寮のことを理解できるのかという不安もありましたが、先生方の献身的な行事への関わりや寮内巡回のおかげで、私たちは快適な寮生活を送ることができています。先日行われた寮祭では、昼は赤レンガ広場でたくさんの楽しい企画を行い、夜は夜祭やラジオ企画など多くの参加者が集って、盛大に開催できました。寮生全員が大きく羽を伸ばせる行事を実施でき、素晴らしい行事にできたと心から思います。今後、学寮の行事は様々実施されますが、私は総代として、寮生の生活を見守り、環境改善などにも一層気を配っていきたいと考えています。これからも、寮生が団結して、より良い寮を作っていきましょう！

第51回北辰寮祭

寮祭実行委員長 建設環境工学科4年 今泉 尚也

(十和田市立四和中学校出身)

今年の寮祭は、天候に恵まれ、様々な人々の協力のもと無事に終えることができ、ほっとしています。寮祭は、毎年恒例の夜の「北辰ラジオ」から始まりました。私は、ラジオ局員も兼務しており、連日の徹夜の甲斐あって楽しく、参加することができました。ラジオが終わると、日中から赤レンガ広場で各クラスの露店、音楽部のライブなどが行われました。寮生の笑顔を見ていると、つい私も嬉しくなりました。また、寮生からは、露店や様々な企画を通じて先輩後輩のつながりが増えたことや、留学生との積極的な交流ができ異文化に触れ合うなど普段の寮生活で味わえない貴重な経験ができたことを聞きました。露店後は、最大の目玉である夜祭です。工夫を凝らしたダンスや漫才などが行われ、寮生全員で楽しむことができました。その後は、2日目の「北辰ラジオ」が放送され、寮祭を締めくくりました。今回、実行委員長として改めて感じたことは、寮祭は寮生の協力なしには成立しないということでした。特

に、模擬局、用土局などの裏方の頑張りには大変感謝しています。最後に、今回、寮祭に来てくださった皆様など多くの関係者の方々に感謝致します。本当にありがとうございました。来年も素晴らしい寮祭にしたいので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

ゴミゼロ運動実施報告

寮務主事補 丹羽 隆裕

去る4月17日、今年度はじめのゴミゼロ運動に参加しました。有志と委員会活動で約50名の寮生が参加しました。年度が明けたばかりで、特に1年生に取っては新鮮だったと思います。寮に住み始めて間もないにも関わらず、積極的に清掃に取り組んでいました。一方、今年度赴任したばかりの教員を中心に、寮務委員会のメンバーも、学生とともに清掃活動を行いました。フレッシュな力が結集された結果、普段見過ごしがちな部分まで徹底的に清掃ができ、寮周辺が非常にキレイになりました。

寮に住んでいると、学校から出かける機会が非常に少なくなります。そうすると忘れがちになるのが「地域」です。寮がどこにあって、周辺にはどんな人が暮らし、どのような活動を通じて地域を維持しているかを知り、一人の住民として地域に貢献することは、学生としてだけでなく、社会人として大変重要なことです。ゴミゼロ運動を通じて、少しでも多くの寮生が、地域の大切さに気がついてくれることを期待します。



就職・進学状況について

就職担当幹事 産業システム工学科長 沢村 利洋

1. 現在の進路状況

今年度の本科5年生および専攻科2年生の6月末における進路状況を表1および表2に示します。求人者数の傾向は、本科、専攻科とも、機械工学科と電気情報工学科はここ数年に引き続き増加していますが、物質工学科と建設環境工学科は落ち着いてきたように思われます。求人倍率はどの学科も大変高く、高専生に対する企業からの期待の高さがうかがわれます。

現在の本科全体の就職・進学希望者の割合は就職61%進学39%です。ここ3年間増加傾向にあった進学希望者割合（昨年同時期47%）ですが、今年は、就職を積極的に選択する学生が多いようです。一方で、専攻科から大学院への進学を希望する学生の割合は、一昨年50%昨年52%と増加していました。今年は70%と激増しています。現在、東北大をはじめとした有名国立大学院への推薦制度が充実し、研究に対する積極性があれば成績上位者のみならず大学院に進むことが可能になっています。本科におけるキャリア教育により、専攻科を大学院へのパスと考える学生が増えていることが要因と考えられます。

2. 今年度の就職活動

昨年度は、日本経済団体連合会（経団連）から発表された「採用選考に関する指針」により、多くの企業が、これまで4月1日以降に実施していた選考を4ヶ月後ろ倒しの8月1日以降に移動させました。その結果、高専においては、かえって就職活動が長期化することになりました。今年度は、6月1日が採用選考の解禁日です。しかし、内定は6月に入ってから出るにしても、実質、4月から面談等が始まり、5月連休前後が一回目のピークになりました。現在のところ、企業就職希望学生の8割近くが、すでに進路が決まっています。また、公務員に関しては、八戸市職員採用試験は、昨年度より6月実施になっています。

進学においては、本校専攻科推薦、学力それぞれが5月下旬、6月中旬に行われました。大学編入学試験の時期は、早いのは6月下旬～7月上旬、遅いのは8月下旬に実施されます。日程が重ならない限り、何校でも併願できるのが高専の強みです。進学希望の学生は、自分の希望する研究

分野を目指し、学校の授業と平行して受験勉強を進めているところです。

3. 進路を決めるにあたって

各学科とも、4月開始の就職活動に向けて、3月中に三者面談を実施し希望進路を固めます。表1の求人社数によると、就職希望学生は数百社の中から自分の希望する企業を選択しなければいけません。しかも、第一希望の1社で決まればベストですが、当然、2社、3社と受けることも覚悟しておかなければなりません。自分の希望する業種・職種を明確にして会社選びをして下さい。

10月22日（土）には、COC+八戸ブロック事業として県内企業限定企業セミナーが開催されます。業種・職種を学べる内容の予定です。また、年度末3月には全国の企業が八戸高専体育館に集まり、企業内容説明会が開催されます。今年の4年生には、企業学習の機会を与えることを目的に、例年より早く学内の就職情報検索システムを活用可能にしています。進学を考えている学生は、複数大学のオープンキャンパスに参加して下さい。各大学の雰囲気を知ることができます。1, 2年次より情報を集めて、準備万端で希望する進路を獲得してください。

表1 本科進路状況（6月27日現在）

学 科	M	E	C	Z
卒業予定者数	46(3)	38(9)	39(20)	38(11)
就 職	希望者数	31(2)	22(5)	18(9)
	求人社数 (昨年同時期)	636 (620)	679 (636)	388 (390)
	求人倍率	20.5	30.9	21.6
	進学希望者数	15(1)	16(4)	21(11)

表2 専攻科進路状況（6月27日現在）

学 科	AM	AE	AC	AZ
卒業予定者数	10	10(1)	12(8)	8(2)
就 職	希望者数	3	1	2(1)
	求人社数 (昨年同時期)	494 (469)	529 (474)	300 (306)
	求人倍率	165	529	150
	進学希望者数	7	9(1)	10(7)



平成28年度 国際交流事業



国際交流センター長 阿部 恵

☆国際交流センター設置☆

本校の国際交流事業をより積極的に実施する目的で、平成28年5月より従来の国際交流委員会から「国際交流センター」に名称を変更しました。グローバルエンジニア育成に向けて、海外の連携校とのネットワークをさらに強化しながら、日本人学生の留学を促進するための環境整備および海外派遣や留学生の受入の拡充、研究者交流等をさらに推進します。

☆グローバル高専☆

本校が高専の第1ブロック（東北・北海道地区9校）のグローバル高専の拠点校となりました。「15歳から世界を舞台とし意識し・活動できるグローバルエンジニアの育成」の取組みを推進し、ツールとしての英語教育や海外での自主探求等を実施していく予定です。

☆留学生紹介☆

平成28年度は4名の留学生が本科3年に編入しました。

電気情報工学科 バニヤ君 モンゴル（モンゴル政府派遣）

物質工学科 トウ君 ラオス（国費）

建設環境工学科 アティカさん マレーシア（マレーシア政府派遣）

建設環境工学科 アキラさん マレーシア（マレーシア政府派遣）

☆平成28年度学生受入・派遣予定☆

平成28年度は以下のとおり、学生の受入・派遣を予定しています。

	日程（予定）	交流国・大学等名	対象学年	人数	期間	奨学金等
学 生 受 入	4/4～6/24 11月～1月	フランス リールA技術短期大学他		4 1	約3ヶ月	JASSO奨学金 80,000円/月
	4/25～7/15	フィンランド トゥルク応用科学大学		3	約3ヶ月	
	6/6～7/29	タイ キングモンクット工科大学 ラカバン		2	約2ヶ月	
	6/28～7/8	アメリカ Columbus North International School		3	11日間	
学 生 派 遣	8/15～8/28	中国 大連東軟信息学院	指 定 な し	1	約2週間	
	9/1～9/10	中国 香港VTC/IVE	指 定 な し	1	10日間	
	9/3～11/13	フランス リールA技術短期大学他	専攻科1年	9	約3ヶ月	JASSO奨学金 80,000円/月
	9/15～9/30	シンガポール テマセクポリテクニク	本科3～5年	7	約2週間	JASSO奨学金 100,000円/月
			本科1～3年	23		青森県教育庁補助金 100,000円/月
	10/4～12	インドネシア 国立ガジャマダ大学	専攻科1年	1	約3ヶ月	
	10/7～18	中国 大連交通大学、大連理工大学	専攻科1年	未定	11日間	

相 談 室 か ら

相談室長 今野 恵喜

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラーによる支援を行ってきています。精神科医も下記のように定期的に来校しますので、保護者の皆様も**お気軽にご相談ください**。

青年期に発症する精神疾患が疑われる場合やうつ状況など、何かしらの異変を感じたり、異変に関する情報を得たら、担任や相談室関係者等にご相談ください。**早期の対応が大切です**。

小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や発達障害等が疑われる場合で支援が必要と思われる際には、お知らせください。ご相談の上、支援チームを組むなどの適切な対応をとってまいります。

いずれの場合も**秘密は守られます**。

相談室では、学生達が積極的な人間関係づくりができるように努めてまいります。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラーと主な担当曜日

水曜日：笹 博
(医師・ささクリニック院長)
中西 智子 (臨床心理士)
木曜日：坂本 玲子
(産業カウンセラー・
スクールカウンセラー)
石川 善子 (臨床心理士)
金曜日：土屋 文彦 (臨床心理士)

詳しくは、窓口にお問い合わせください。

校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスターも掲示されています。

◎インターカー (窓口)

榎本 恭子 (看護師、保健室)
電話 0178-27-7236

◎相談員

各コースの教員を配置し、懇話室に日替わりで詰めています。夏学期の懇話室担当日は次の通りです (授業日の16:00~17:00)。

月曜日：矢口 淳一 電話 0178-27-7305
(副室長、環境都市・建築デザインコース)

火曜日：川口 恵未 電話 0178-27-7434
(マテリアル・バイオ工学コース)

水曜日：中ノ 勇人 電話 0178-27-7288
(電気情報工学コース)

木曜日：戸田山みどり 電話 0178-27-7260
(総合科学教育科)

金曜日：今野 恵喜 電話 0178-27-7308
(室長、環境都市・建築デザインコース)

◎教職員向け相談員

ゼミナール棟2階第3ゼミ室に詰めています。主に教職員のためですが、**学生でも相談できます**。

火曜日 15:00~17:00
平川 武彦相談員 (名誉教授)
木曜日 15:00~17:00
菅原 隆相談員 (名誉教授)
金曜日 13:00~15:00
工藤 隆男相談員 (名誉教授)

☆**学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN 健康相談室」フリーダイヤル0120-50・24・12もあります。(受付時間：24時間365日)**

□これまでの取り組みとこれからの予定

1. 構成的グループエンカウンターの実施 (1年生) <4月下旬>
人間関係づくりや思いやりのある学級づくりに効果が期待される取り組み
2. 第1回「こころと体の健康調査」の実施 (全学生) <5月中・下旬>
学生のメンタルの不調をいち早く把握し、必要に応じ精神科医やカウンセラーなどによる専門的な面談を実施するなど、学生の自殺を未然に防ぐ取り組み
3. Q-U (Questionnaire-Utilities) 検査の実施 (1, 2, 3年生) <6月中旬>
学級運営や学生個人の支援に生かす取り組み

※ **1年生対象の「話してみよう! 1分間」は7月に実施の予定**。学生が相談しやすくなり、しかも相談できる相手の選択肢を広げる取り組み

図書館の 今年度の予定



図書館長 工藤 憲昌

今年度の図書館の活動については次のことを計画しています。

<交流室の積極的利用の促進>

昨年度に引き続き、授業、公開講座、メンター制度、学生の自由な学習エリア等、多用途に使用していただけるアクティブラーニングエリアとしての積極的な利用を促進

<読書習慣を身につけるための各種行事の充実>

- ・ブックハンティング（7月6日）
- ・ビブリオバトル（6月22日）
- ・ニュースレターの発行（6月発行）
- ・学生会図書委員会の活動支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会総会（弘前大学、7月13日）
- ・東北地区高等専門学校図書館連絡協議会（一関高専、11月）

<図書館ホームページの管理・更新>

- ・図書統計の公表など

<そ の 他>

- ・自主探求学習の支援

ビブリオバトル（Bibliobattle）

輪読会、読書会、または勉強会の形式で「知的書評合戦」とも呼ばれているもので、

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に決められた時間（5分や3分など）で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. すべての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったか？を基準とした投票を参加者全員が一票投票し、最多票を集めたものを「チャンプ本」とするものです。

女子学生 進路調査の結果から

男女共同参画 戸田山 みどり

女性の活躍推進が日本社会の課題で、世間ではいろいろ話題になっていますが、高専の女子学生にとってどのような関係があるのでしょうか？

本委員会では昨年度末に卒業した女子学生について、進路状況のアンケートを実施しました。その結果、電気情報工学(E)科と建設環境工学(Z)科では、女子学生のほうが採用されやすかった事例があることがわかりました。E科からのコメントによれば、2年ほど前から、就職に関して女子を積極的に採用したい会社が増えたこと、また、産休・育休の制度を整え、その後会社に復帰できる企業が増えているということがわかりました。さらに、Z科の回答から、特に公務員の場合、女性を優先に採用する事が多いとわかりました。

そのいっぽう、同じくE科から指摘があるように、女子採用に関して体制ができていない、あるいは体力を要する等の理由で女子の応募に制約がある会社もあります。また、機械工学科からの回答では女子を実質的には採用していない企業もあり、学生が応募を断念している実態があります。

もうひとつの課題は、女性研究者の比率です。研究者に占める女性の割合は英米で35%前後、日本より少なかった韓国でも18%を超えました。いっぽう日本の場合は、全分野で14.7%（2014年）、工学系では特に低く、土木・建築が平均値で、その他の分野はすべて平均を大きく下まわっています。国は女子研究者の数を増やすべくさまざまな予算をつけていますが、裾野の拡大は女子学生が大学院に進学することが前提になります。

今回のアンケートで気になるのは、優秀な女子学生でも進学意欲が低いことがある、という指摘です。進学が家庭にとって経済的な負担となっていることは日本社会の問題ですが、それにしては女子だからという理由で保護者が進学を認めなかった事例の報告もあり、切ないものがあります。

好景気の影響もあり、女子の就職状況は良好ですが、長期的な観点からすれば、優秀な学生は、まず進学を考えてほしいと思います。経済的負担を軽減する方法はあるのですから。そして、進学は単なる雇用ではなく、上位職、つまり管理職や研究職といった責任とやりがい（および収入と安定）のある仕事へとつながる道だからです。

第69回青森県高総体結果

競 技 種 目	会 場	結 果	備 考
【団体の部】			
男子バスケットボール	マエダアリーナ	2回戦敗退	
女子バスケットボール	青森中央高校	初戦敗退	
男子バレーボール	青森県武道館	ベスト8（準々決勝敗退）	
女子バレーボール	東奥義塾高校	1回戦敗退	
ソフトテニス	岩木山総合公園テニスコート	男子団体：2回戦敗退	
		女子団体：不参加	
卓球（男子団体）	十和田市総合体育センター	ベスト8（準々決勝敗退）	
柔 道	五所川原市民体育館	予選リーグ敗退	
サッカー	青森山田高校サッカー場 他	2回戦敗退	
バドミントン（男子）	八戸北高等学校	2回戦敗退	
ハンドボール（男子）	野辺地高校	1回戦敗退	
【個人の部】			
陸上：(3000mSC) 小橋 和樹	青森県総合運動公園陸上競技場	第6位	東北大会出場
陸上：(三段跳) 高比座 海斗		第2位	東北大会出場
ソフトテニス	岩木山総合公園テニスコート	男子：1ペア3回戦敗退	
		1ペア2回戦敗退	
		3ペア1回戦敗退	
		女子：1ペア1回戦敗退	
卓球：(男子S) 山本 凌	十和田市総合体育センター	1回戦敗退	
卓球：(男子S) 相馬 史拓		2回戦敗退	
卓球：(男子S) 畑中 亮祐		2回戦敗退	
卓球：(男子S) 原 颯杜		2回戦敗退	
卓球：(男子S) 上野 陸斗		1回戦敗退	
卓球：(女子S) 中山 美優		1回戦敗退	
卓球：(男子W) 岩藤・相馬		1回戦敗退	
卓球：(男子W) 畑中・原		ベスト16	
柔道：坂本 修平	五所川原市民体育館	1回戦敗退	
柔道：北田 佳隆		1回戦敗退	
柔道：羽田 直央		1回戦敗退	
水泳：男子400mメドレーリレー	鱒ヶ沢町立スポーツセンター 室内温水プール	8位	
水泳：男子400mリレー		8位	
水泳：男子200mバタフライ		8位	
水泳：男子200m個人メドレー		8位	
水泳：女子50m背泳ぎ		2位	

第53回東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

平成28年7月1日(金) ～ 7月3日(日)

団体の部 (全成績)

	競 技 名	大 会 会 場	男 子	女 子
秋 田 大 会	陸 上 競 技	秋田県立中央公園陸上競技場	第3位	第3位
	バスケットボール	CNA アリーナ★あきた (市立体育館)	第3位	第3位
	卓 球	秋田県立体育館	第3位	
	剣 道	男鹿市総合体育館	第7位	第2位
	テ ニ ス	秋田県立中央公園人工芝コート	予選リーグ 敗 退	第3位
	ハ ン ド ボ ー ル	湯沢市総合体育館	予選リーグ 敗 退	
八 戸 大 会	バ レ ー ボ ー ル	男子：十和田市総合体育センター 女子：六戸町総合体育館	優 勝	第3位
	ソ フ ト テ ニ ス	八戸市立東運動公園テニスコート	予選リーグ 敗 退	
	柔 道	八戸高専第一体育館	第3位	
	硬 式 野 球	十和田市営球場、軽米町営野球場	第3位	
	サ ッ カ ー	五戸ひばり野運動公園サッカー場 陸上競技場	優 勝	
	水 泳	八戸高専プール	第6位	第2位
	バ ド ミ ン ト ン	八戸市体育館	初戦敗退	

※全国大会団体出場競技

競 技 名	全 国 大 会 会 場	全 国 大 会 日 程
バレーボール 男子	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム・ふれ愛ドーム	8月20日(土) ～ 21日(日)
サ ッ カ ー	愛鷹広域公園スポーツ広場、裾野市運動公園	8月20日(土) ～ 21日(日)、 23日(火) ～ 24日(水)

個人の部

競 技 名	種 目 名	科 年	氏 名	成 績	全 国 大 会 日 程
陸 上 競 技	※男子100m走	C 5	工 藤 泰 良	第1位	8月24日(水) ～25日(木) パロマ瑞穂スタジアム (名古屋市瑞穂公園陸上 競技場)
	※男子110mH	Z 3	赤 坂 健 太	第1位	
	※男子3000mSC	C 3	小 橋 和 樹	第1位	
	男子3000mSC	C 3	小 山 浩 亮	第3位	
	男子4×100mリレー		寅 谷 ・ 工 藤 土 佐 ・ 川 渡	第3位	
	男子4×400mリレー		佐 藤 ・ 工 藤 山 田 ・ 田 尻	第3位	

第53回東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

競 技 名	種 目 名	科 年	氏 名	成 績	全 国 大 会 日 程
陸 上 競 技	※男子走高跳	Z 3	赤 坂 健 太	第1位	8月24日（水） ～25日（木） パロマ瑞穂スタジアム （名古屋市瑞穂公園陸上 競技場）
	※男子走幅跳	E 3	高比座 海 斗	第3位	
	※男子三段跳	E 3	高比座 海 斗	第2位	
	※男子円盤投	M 5	小 林 蒼 太	第2位	
	※女子800m	C 4	前 川 由 貴	第2位	
	女子4×100mリレー		畑 中 ・ 宮 前 川 ・ 津 村	第3位	
	女子走高跳	C 3	津 村 舞 奈	第2位	
	女子砲丸投	C 3	横 浜 希	第3位	
	女子円盤投	C 3	横 浜 希	第2位	
テ ニ ス	女子シングルス	M 3	瀧 野 アリサ	第3位	
バ ド ミ ン ト ン	男子ダブルス	E 5	小 野 雄 大	第3位	
		Z 2	赤 坂 綾 斗		
	女子シングルス	C 5	宇 川 千 夏	第3位	
ソ フ ト テ ニ ス	※女子ダブルス	Z 4	粒 来 真優子	第1位	8月18日（木） ～19日（金） 四日市ドーム
		Z 4	田 中 志 穂		
	女子ダブルス	C 5	沢 谷 実 里	第3位	
		Z 1	小笠原 萌 花		
	※女子シングルス	C 5	沢 谷 実 里	第1位	
	※女子シングルス	Z 4	粒 来 真優子	第2位	
柔 道	男子60kg級	E 3	坂 本 修 平	第3位	8月27日（土） ～28日（日） 石川県立武道館
	男子90kg級	Z 2	北 田 佳 隆	第3位	
	男子90kg超級	M 5	榊 翔 弥	第3位	
	※女子52kg級	C 5	浦 田 夢 月	第1位	
水 泳	※男子200mバタ	M 1	嵯 峨 駿 佑	第3位	8月21日（日） 富山県総合体育センター プール
	女子200m平泳ぎ	C 4	田 村 飛美輝	第3位	
	※女子50m背泳ぎ	Z 2	梶 本 知 里	第2位	
	女子100m背泳ぎ	Z 2	梶 本 知 里	第1位	
	女子200mメドレー リレー		松 浦 ・ 田 村 梶 本 ・ 佐 藤	第3位	
	女子200mリレー		梶 本 ・ 田 村 松 浦 ・ 佐 藤	第3位	
	女子400mリレー		梶 本 ・ 田 村 松 浦 ・ 佐 藤	第3位	

※印 全国大会出場者



学 生 表 彰



◆ 学年学業成績優秀賞

氏 名	出身中学校	進級後クラス
【1年次成績部門】		
上野 晴奈	八戸市立三条中学校	機械システムデザインコース2年
立花 呼人	八戸市立根城中学校	マテリアル・バイオ工学コース2年
小林 瑠那	滝沢市立南中学校	マテリアル・バイオ工学コース2年
織笠 歩夢	三沢市立第三中学校	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】		
西館 嗣海	軽米町立晴山中学校	機械工学科3年
東山 聖生	五戸町立倉石中学校	電気情報工学科3年
田中 侑己	青森市立筒井中学校	物質工学科3年
橋本 龍	八戸市立根城中学校	建設環境工学科3年
【3年次成績部門】		
曲田 航平	八戸市立大館中学校	機械工学科4年
武田 一希	むつ市立大平中学校	電気情報工学科4年
新毛 実結	東北町立上北中学校	物質工学科4年
酒井 大誠	七戸町立七戸中学校	建設環境工学科4年
【4年次成績部門】		
陣場 優貴	二戸市立金田一中学校	機械工学科5年
道上 和馬	野田村立野田中学校	電気情報工学科5年
平井 東	八戸市立東中学校	物質工学科5年
高坂 晴伎	三沢市立堀口中学校	建設環境工学科5年
【専攻科成績部門】		
石橋 諭		電気情報システム工学コース2年
高橋 侑佳		マテリアル・バイオ工学コース2年

◆ 学習到達度試験優秀賞

科 目	学 科	学 生 氏 名	出身中学校
数 学 (1位)	電 気 情 報 工 学 科	鈴木 涼平	弘前市立東中学校
物 理 (1位)	電 気 情 報 工 学 科	鈴木 涼平	弘前市立東中学校

◆ 三ヶ年皆勤賞

機 械 工 学 科				電 気 情 報 工 学 科			
小笠原	怜	唯	八戸市立下長中学校	赤平	芹南	平川市立平賀西中学校	
新藤	大	樹	十和田市立甲東中学校	小野寺	拓海	弘前市立第三中学校	
関根	大	智	五戸町立川内中学校	甲田	智也	八戸市立大館中学校	
館ヶ沢	尚	希	二戸市立金田一中学校	松元	ほの香	野辺地町立野辺地中学校	
中村		佑	青森市立新城中学校	八木田	直暉	八戸市立三条中学校	
西沢	修	平	むつ市立大平中学校	山下	翔太	八戸市立湊中学校	
西村	優	弘	八戸市立是川中学校				
林	優	貴	八戸市立島守中学校				
藤森	大	将	洋野町立種市中学校				
程熊	幸	佑	階上町立道仏中学校				
俣田		舜	むつ市立大平中学校				
安村	祐	哉	野辺地町立野辺地中学校				

物 質 工 学 科				建 設 環 境 工 学 科				
小	野	楓	花	軽米町立軽米中学校	今	泉	尚也	十和田市立四和中学校
堰	合	ち	ひろ	八戸市立東中学校	川	守田	美樹	南部町立福地中学校
田	中	早	紀	八戸市立第一中学校	浜	山	千佳	八戸市立三条中学校
山	田	香	蓮	八戸市立第二中学校	宮	崎	瑠南	八戸市立白山台中学校
和	田	実	侑	八戸市立市川中学校	山	崎	慎之介	八戸市立下長中学校

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail: somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月26日(木)に行います。(就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く)

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替えになります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

授 業 料		寄 宿 料		学 寮 運営費	振 替 手数料
1～3年	4年～	複数室	個室		
117,300	117,300	4,200	4,800	40,425	66
*57,900					

授業料等を期日(前期分9月、後期分3月)までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

後期授業料免除のお知らせ

平成28年度後期授業料免除(4年生以上)の申請受付期間は以下のとおりです。

・申請受付期間 9月1日(木)～9月30日(金)
(土・日・祝日および学校閉鎖期間を除く9:00～17:00まで)

申請期間以降の受付はできません。必ず期間内に申請してください。また、申請書類に不備がないよう提出前に確認してください。

なお、前期申請時に後期分も申請した学生は提出不要です。

3年生以下については、高等学校等就学支援金制度があるため、次の場合に限り申請を受け付けます。

・納期前6月以内に、主たる学資負担者が死亡または風水害等の災害を受けた場合
・納期前6月以内に、主たる学資負担者が失職しその後再就職していない場合

【授業料免除等に関する問い合わせ先】

学生課学生係 TEL: 0178-27-7235

平成28年度 公開講座

- 3Dパズルを組み立てながらイギリスを知ろう
日 時: 6月5日(日)
対 象: 小学生、保護者
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ - 建築模型 -
日 時: 6月11日(土)
対 象: 中学生、保護者、中学校教員
- メカ no ワールド体験塾 Aコース
日 時: 7月10日(日)
対 象: 中学生、中学校教員
- 第二種電気工事士技能試験事前講習会
日 時: 7月16日(土)・17日(日)
19日(火)・20日(水)
対 象: 平成28年度第二種電気工事士技能試験受験者
- ジュニア柔道クリニック イン 高専
日 時: 7月25日(月)・26日(火)
27日(水)
対 象: 小学生、中学生
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ - 水の環境調査 -
日 時: 8月6日(土)
対 象: 中学生、保護者、中学校教員
- LEDで学ぶ電気の世界
日 時: 8月9日(火)
対 象: 小学5年生以上、中学生(小学生は保護者同伴のこと)
- ロケットはなぜ飛ぶか
- PET ボトルロケットコンテスト -
日 時: 8月20日(土)
対 象: 小学生
- 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズ
- ブリッジコンテスト -
日 時: 9月10日(土)
対 象: 中学生、保護者、中学校教員
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ - まちづくり講演 -
日 時: 9月24日(土)
対 象: 中学校、保護者、中学校教員
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ - 防災 -
日 時: 10月1日(土)
対 象: 中学生、保護者、中学校教員
- メカ no ワールド体験塾 Bコース
日 時: 10月15日(土)
対 象: 中学生、中学校教員
- ジュニアロボット教室
日 時: 11月5日(土)
対 象: 小学5年生以上、中学生(小学生は保護者同伴のこと)

